

主な出来事

【内政】

- 政治対話の2週間の延長
- 政治対話の終了
- UN副代表によるボンゴ大統領及びジャン・ピンに対する対話の呼びかけ

【外政】

- ボンゴ大統領による米・アラブ・イスラム首脳会合出席
- 中国全人代常務委員会副委員長によるガボン訪問
- イソゼ・ンゴンデ首相によるルワンダ訪問
- ボンゴ大統領によるア首連訪問

【経済】

- BEACによる2016年総決算の発表
- ボンゴ大統領によるマンガン採掘・加工工場の竣工式への出席
- 2017年CEMAC経済成長予測：1.6%
- 2017年政府予算の修正

【内政】

1 ACR臨時党大会の開催

4月28-29日、ブルーノ・ベン・ムーバンバ変化と復興のための連合（ACR）副代表が臨時党大会を開催。同大会にて、憲法の抜本的改正、上院改革に係る提案が採択された。（2日付UN）

2 政治対話の2週間の延長

9日、3月28日に開会し、5月10日に閉会が予定されていた政治対話に関して、選挙プロセス、選挙区区分、制度機構改革、憲法改正等の議題に関して、各委員会における与野党間のコンセンサスが得られていないこと等を理由に2週間の延長が決定された。（10日付UN、10日付AFP）

3 政治対話の終了

26日、政治対話の閉会式にて、国家制度の改革、選挙改革、公的生活の刷新、平和及び国民統合の強化の4つのテーマに関し、与野党間で264項目に亘る覚書が署名された。大統領選挙及び国会選挙での2回投票制が採用された一方、大統領任期については再選制限を設けない結果となった。（29日付UN）

4 UN副代表によるボンゴ大統領及びジャン・ピンに対する対話の呼びかけ

政治対話終了後、カシミール・オイエ・ンバ国民連合（UN）副代表は、ガボン国内の政治的緊張を緩和するため、ボンゴ大統領及びジャン・ピンによる政治対話を呼びかけた。（2

9日付, 30日付UN)

5 インズバ・ンダバによるボンゴ大統領及びピンに対する対話の呼びかけ

オイエ・ンバUN副代表の呼びかけに続いて, インズバ・ンダバ民主主義者 (Les Démocrates) 代表は, アリ・ボンゴ大統領及びジャン・ピンによる第3の対話実施を要求した。(6月1日付UN, 31日付GR)

【外政】

1 ベナン前首相によるガボン訪問

5日, ガボン訪問中のリオネル・ジンスー・ベナン前首相は, アリ・ボンゴ大統領と会談し, アフリカの経済状況について意見交換を行ったほか, 中部アフリカ経済通貨共同体 (CEMAC) 加盟国の経済制度支援について協議した。(5日付UN)

2 ボンゴ大統領による米・アラブ・イスラム首脳会合出席

19日, ボンゴ大統領は20日から21日に開催された米・アラブ・イスラム首脳会合に出席するためリアドを訪問した。(20日付, 22日付UN)

3 中国全人代常務委員会副委員長によるガボン訪問

21日から23日, Ji Bingxuan 中国全人代常務委員会副委員長がガボンを訪問し, アリ・ボンゴ大統領と投資, 貿易, インフラのほか, 二国間の議会協力について協議したほか, オヌビエ国民議会議長及びミレブ・オブソン上院議長とそれぞれ会談した。同副委員長は, 客年8月の大統領選挙時に一部焼失した国民議会の改修を行う旨発表したほか, 機材の利用・保守といった技術協力に加え, 議会職員の研修を通じたキャパシティ強化支援等について発表した。(23日付UN)

4 イソゼ・ンゴンデ首相によるルワンダ訪問

10-12日, イソゼ・ンゴンデ首相は, キガリにて開催されたトランスフォーム・アフリカサミットに出席し, ガボンの経済成長, 雇用促進の起爆剤となるようデジタル通信技術分野を発展させる旨発言した。(13日付UN)

5 ボンゴ大統領によるア首連訪問

30日, アリ・ボンゴ大統領はア首連を訪問し, ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム・ドバイ首長国首長と会談し, 二国間関係の強化等について協議した。(6月1日付UN)

【経済】

1 コミログ社による2017年第1四半期決算の発表

コミログ社は, 粗鋼生産量の増加を理由に, 2017年第1四半期決算が前年比41%増の2,750億CFAフランとなる旨発表した。(3日付UN)

2 BEACによる2016年総決算の発表

中部アフリカ諸国銀行 (BEAC) は2016年総決算を発表し, 前年比2.5%増の1,642億CFAフランになる旨発表した。他方, 同銀行の2016年総資産は前年比25%

減の7兆730億CFAフランとなった。(5日付UN)

3 ポンゴ大統領によるマンガン採掘・加工工場の竣工式への出席

8日、アリ・ボンゴ大統領はフランスビルから15キロ離れたビニオミに建設されたNouvelle Gabon Mining社のマンガン採掘・加工工場の竣工式に出席した。ビニオミ、モアンダ、ンジョレのマンガン工場により、同国はマンガン輸出国1位を目指している。本件工場の年間生産量は30万トンで、建設費用に610億CFAフランが費やされた。2019年には、年間生産量が200万トンに到達することが予想される。(9日付UN)

4 2017年CEMAC経済成長予測：1.6%

BEACは、原油価格の上昇、中部アフリカ地域における経済改革を理由に、2017年のCEMAC経済成長を1.6%と予測した。(12日付UN)

5 フランス・ガボン経済関係

中部アフリカ仏経済局の最近の報告書によれば、2016年の貿易額について、仏は2015年から14%減の3億1,600万ユーロの貿易黒字を記録した。仏は工業製品、冶金・金属製品、情報機器、農産品がそれぞれ10.6%、41.8%、193%、9.5%下落するなど、各種販売業務の悪化に苦しんだ一方、森林分野での好況により、輸入は2015年の11.7%から、2016年は31.8%に増加した。(12日付UN)

6 ガボン政府による石油生産量の発表：8,384万バレル

ガボン経済省は、2016年の同国の石油生産量が前年比3.7%減の8,384万バレル(約1,148万トン)を記録した旨発表した。(15日付UN)

7 2017年政府予算の修正

19日の閣議において、2017年政府予算案の修正が承認され、予算総額は、当初案の2兆4,775億CFAフランから2兆8,600億CFAフラン(約43.6億ユーロ)に増額し、固有財源は、当初案の1兆8,584億CFAフランから、1兆7,146億CFAフラン(約26.1億ユーロ)に減額した。予算支出は、当初案から4.2%増加の1兆8,867億CFAフラン(約28.7億ユーロ)となった。(10日付UN)

8 ガボン・FAO協力

当地FAO代表は、ガボン農業省との間で2017-2022年の総額45億CFAフランの新プロジェクトに署名した。同プロジェクトは、自然資源の持続的利用、食料安全保障の促進等を目的としている。(23日付UN)

9 世銀ミッションの当地訪問

23-24日、世銀ミッションは、経済再建計画(PRE)及び国家統計ツールの改良に係る新たな世銀協力について協議するためリーブルビルを訪問した。過去2年間で、世銀によるガボン支援は5倍に増加し、統計に係るプロジェクト支援額は、7,000万ドルから5億ドルに増額している。(27日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガ

ボン電子版ニュース), GE(ガボン・エコ電子版ニュース), AFP(フランス通信社), GL(ガボンリ
ーブル電子版ニュース), AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス), LP(LOUP 紙), EN(エコ
ー・ノール紙)